

情報通信審議会 情報通信技術分科会

電波利用環境委員会 CISPR I 作業班(第 19 回)

議事要旨

1 開催日時：令和 7 年 7 月 24 日（木）14:30～15:55

2 開催場所：Web 会議開催（Cisco Webex）

3 出席者（敬称略）

【構成員】秋山主任（NTT-AT）、堀主任代理（SONY）、赤澤構成員（パナソニック）、雨宮構成員（VCCI）、伊藤構成員（NHK）、長部構成員（VCCI）、加藤構成員（REEA）、小寺構成員（JEMA）、川脇構成員（JBMIA）、曾根構成員（東北大）、千代島構成員（NICT）、長倉構成員（JEITA）、乗本構成員（KEC）、星野構成員（CIAJ）、松本構成員（NICT）、村上構成員（JET）

【関係者】島先関係者（VCCI）

【事務局】総務省：今泉電波監視官、郷藤電磁障害係長（記）、内田官

4 議事概要

（１）CISPR I 小委員会 MT 等 国際会議審議結果

MT7 の審議結果について、千代島構成員より、資料 19-1-1 及び資料 19-1-2 に基づき説明が行われた。補足・質疑応答は以下のとおり。

秋山主任：資料 19-1-1 の 3.1 項の DK-03 について、身近なところだと USB タイプのアダプタは 1 つの電源から複数に対して電力供給できるが、これは dedicated に該当しないとの認識で良いか。

千代島構成員：「dedicated」は 1 つの装置に対して DC 電力を供給する AC/DC 電力変換器と定義されることになる。

秋山主任：今までの専有とは違うということで共有させていただいた。もっと定義を細かくした方が良いかもしれない。

同項の WPT について、20dB の緩和の復活は基本波のところだけか。

千代島構成員：前回 CD の記載を復活ということなので、基本波だけとなる。

秋山主任：WPT 関連で報告された ECC Recommendation (25)01 の位置付けはどうなっているか。どういう扱いになっているのか。

千代島構成員：ECC（電子通信委員会）は、CEPT（欧州郵便電気通信主管庁会議）の下部組織であり、この勧告には強制力はないが、ETSI や CENELEC と連携しており今後関連する整合規格に反映されることが見込まれる。また、今後欧州の各国が独自に適用していくことも考えられる。

小寺構成員：資料 19-1-2 の 3.1 項の US-15 について、無線のキャリア周波数を除外することであったが、実際に無線キャリアと切り分けるのは難しいと思われるが、どのようにするのか。

千代島構成員：無線装置から出ていると特定する必要があり、無線をオフにするとか、レポートを確認する等があるかと思う。

小寺構成員：同項の DE-04 で相互変調の測定は大電力の無線機器の場合とする提案が不採用となっているが、CISPR 14-1 では電力制限（3 W 以下は除外）を規定したと聞いている。CISPR 32 はそのようなことはないか。

千代島構成員：現時点では電力制限は採用しないとのことであった。理由は、無線送信電力がいくら以下なら、相互変調は発生しないということは事前に分からないため。

次に、MT8 の審議結果について、星野構成員より、資料 19-1-3 に基づき説明が行われた。補足・質疑応答は以下のとおり。

秋山主任：4.1 項の最後の点について、MT7 のエミッション測定では様々なモードでやることとなっているが、整合していないのか。それともエミッションとイミュニティとは別のものということか、

星野構成員：イミュニティとエミッションでは区別されていると思われる。

秋山主任：機会があれば確認したい。

4.2 項の IEC 61000-4-2、4-6 について、次の CDV 案では最新版が参照されているのか。

星野構成員：4-2 は 2012 年版なので最新版では無い。4-6 は 2023 年版が参照されている。

秋山主任：次の CDV が出たときにコメントすることとなるかと思う。

注）その後の確認で 61000-4-2 も最新版が参照されていることを確認した。

星野構成員：4-2 はエスカレーションストラテジーというものがあり、その方法について疑問点があり、最新版の参照が見送られている。

（２） CISPR I 小委員会 ニューデリー会議 総会 対処方針(案)について

秋山主任より、資料 19-2 に基づき説明が行われた。補足・質疑応答は以下のとおり。

雨宮構成員：4%ステップについて、これまで我が国から提案をして導入されたが、これを変更するとなると再度説明が必要になるかと思われるが、どう対処するか。

秋山主任：対処方針に記載のとおり、データを元に説明する必要があると思う。

雨宮構成員：現時点でデータを提出できる状態なのか。

秋山主任：星野構成員に確認したいが、TC77 に日本からの文書は送られているか。

星野構成員：SC77B に送られているが、コンビーナ等に確認した方が良い。

雨宮構成員：すぐ出せるようデータ、文書を持っていった方が良い。

秋山主任：承知した。

（３） 電波利用環境委員会 報告(案)について

秋山主任より、資料 19-3-1 及び資料 19-3-2 に基づき説明が行われ、特に質疑応答はなく、承認された。

（４） CISPR I 小委員会 参加者(案)について

秋山主任より資料 19-4 に基づき説明が行われ、堀主任代理から JQA 牧本様は参加しないとコメントがあり、削除の後、承認された。

(5) その他

資料 19-3-1、資料 19-3-2 及び資料 19-4 を、8 月 20 日(水)に開催される電波利用環境委員会(第 64 回)で報告する。

次回の作業班については、事務局より別途連絡する。

以上